

星野リゾート 界 うるはし現代湯治の案内人「界の湯守り」12月1日登場 ～全国の界15施設で展開～

2018年12月1日、星野リゾートの温泉旅館ブランド「界」に、「うるはし現代湯治」の案内人「界の湯守り」が登場します。界の湯守りは、各施設の温泉の特徴を活かした「現代湯治滞在プログラム」を、「温泉いろは」や「湯守りタイム」などの温泉アクティビティと合わせて提案します。

「うるはし現代湯治」と「界の湯守り」とは



「うるはし現代湯治」とは

界では、2017年12月1日より、温泉の本質を伝え、湯治文化を現代に受け継ぐことをブランドの約束とし、「うるはし現代湯治」提案をしてきました。

現代人の忙しい日々で疲労した心と身体を調え、明日への活力を取り戻すような温泉旅館の楽しみ方をテーマに、温泉の入浴法や呼吸法、湯上がり処でのくつろぎ方など、温泉にまつわる知識を、気軽に実践できる内容として、界全施設で展開しています。

「界の湯守り」とは

新たな取り組みとして、温泉療法専門医の早坂信哉氏監修による「現代湯治滞在プログラム」を開発しました。温泉の泉質や立地、自然環境などさまざまな特徴に合わせた滞在プログラムで、全国の界15施設にて展開します。

今回登場した界の湯守りは、各施設の温泉の特徴を捉えた入浴方法はもちろん、食事や文化体験など含めた温泉旅館の過ごし方を案内します。

温泉いろは



「温泉いろは」では、各施設の「現代湯治滞在プログラム」の案内はもちろん、温泉の泉質の特徴や入浴方法など、心と身体を整える「いろは」を、界の湯守りが楽しいトークや遊びを通じて伝えます。

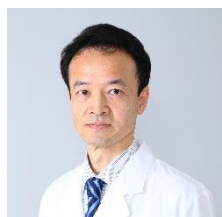
湯守りタイム



「湯守りタイム」では、大浴場内で半纏（はんでん）姿の界の湯守りが、入浴中の簡単なストレッチ方法や入浴時のポイントを伝えます。また、水分補給用の飲み物を手渡し、快適な入浴の手伝いをします。

早坂信哉氏監修による「現代湯治滞在プログラム」

「うるはし現代湯治」の監修に引き続き、「現代湯治滞在プログラム」も全施設、温泉療法専門医である早坂信哉氏が監修をしています。



監修：早坂信哉博士(医学)、温泉療法専門医

1968年生まれ 宮城県出身
 1993年 自治医科大学医学部卒業後、地域医療に従事
 2002年 自治医科大学大学院医学研究科修了
 現在 東京都市大学人間科学部教授
 一般財団法人日本健康開発財団温泉医科学研究所所長

湯治は単に温泉に浸かるだけでなく、その温泉地ならではの食事、文化の体験などで体調を調えるものである。改めて界のそれぞれを見ると、特徴があって面白い。1泊2日で、その土地を感じてもらおうような工夫をしており、これは他の旅館では見られない試み、コンセプトだ。まさに湯治への第一歩である。

「現代湯治滞在プログラム」モデルスケジュール

例1: 界川治（栃木県・川治温泉）「里山の知恵で疲労回復をはかる」

溪流沿いに佇む界川治は、石臼で挽きな粉づくりや紙漉き体験など、里山の知恵に触れる滞在が特徴です。野趣溢れる温泉は、体に優しい療養向きの単純温泉で、昼間は里山の自然、夜は瓢箪ランプ*2の優しい灯りを楽しむことができます。敷地内には溪流を見下ろす庭があり、ストレッチや散歩するのに適しています。また、食事では滋味豊かなジビエを味わうことができます。滞在プログラムは、それらを効果的に組み合わせ、疲労回復をはかり、活力を生み出す工夫をしています。

*2 下絵を描きくり抜いた瓢箪の中に灯りを入れたランプ。ひょうたんの材料「ふくべ」は栃木県の名産。

1
日目



15:00 客室で一息
 16:00 自然に囲まれ入浴
 18:00 マッサージ
 *疲れた足や体をゆっくり癒す。



19:30 特別会席「味噌牡丹鍋」
 *猪肉には、鉄分やエネルギーを作るのを助けるビタミンB群が多く含まれている。



21:30 瓢箪ランプのもと入浴
 *優しい灯りで心落ち着くひと時。
 22:30 瞑想・就寝前ストレッチ
 *心身をほぐし、質の高い眠りへ。

2
日目



6:00 足湯しながら深呼吸・目覚めのストレッチ
 *足湯に浸かり緩やかに体温を上げる。
 6:30 庭の散歩
 *目覚めたらすぐ太陽光を浴びて、体内時計をリセット。



7:00 入浴
 8:00 朝食
 10:00 石臼きな粉挽き体験
 *きな粉に含まれる大豆ペプチドは疲労回復に効くと云われる。

泉質

単純温泉
 (低張性弱アルカリ高温泉)

環境

標高：502m
 夏平均気温：20℃
 冬平均気温：1℃
 冬の降雪量：30cm

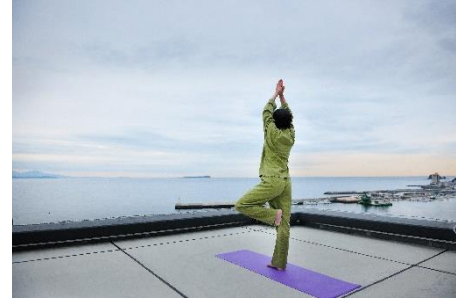
歴史：

江戸時代中期、男鹿川の氾濫後、温泉が噴き出しているのが発見されたことが、はじまりとされる。宿場町として、また湯治場として栄えた歴史があり「傷は川治、火傷は滝(鬼怒川)」と言われる。

例2: 界 アンジン（静岡県・伊東温泉）「海を五感で感じ日常を忘れる」

界 アンジンは、英国人航海士・三浦按針（みうらあんじん）ゆかりの地、静岡県伊東市に位置します。最上階にある大浴場では海を眺めながら湯浴みができ、船の甲板をイメージした湯上がり処「サンプエナデッキ」では海風を感じながら湯涼みができます。大航海時代に思いを馳せながら、日常を忘れる滞在ができるプログラムです。

泉質 単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）
環境 標高：10.8m、夏平均気温：29.6℃
 冬平均気温：6.9℃、冬の降雪量：0cm
歴史 伊東温泉は、別府温泉・湯布院温泉に並ぶ日本三大温泉と云われる。湯治湯として徳川家光に献上されていた歴史もある。



15:00 客室で一息
 15:30 内風呂（ぬる湯）で入浴
 * のんびり浸かりリラックス。
 * 冷タオル、砂時計を使用して、のぼせを防止。

16:30 海洋深層水で水分補給
 * ミネラル分豊富な海洋深層水で、入浴で失われた水分を補給。
 17:30 夕食
 20:00 入浴 21:00 マッサージ
 22:00 瞑想・就寝前のストレッチ

5:30 「オーシャンストレッチ」
 *心地良い海風を感じ、深呼吸・目覚めのストレッチ。
 6:30 露天風呂（あつ湯）で入浴
 *心と身体を目覚めさせる。
 7:00 朝食

例3: 界 アルプス（長野県・大町温泉）「アルプスの山々からエネルギーチャージ」

北アルプス山麓にある界アルプスでは、囲炉裏が設けられた土間での「おやき」や「おめざ粥」のふるまいなど、信州の贅沢な田舎を体感することができます。温泉は、さっぱりと汗を流すのに適した優しい湯で、登山など運動後の疲れを緩和させる効果もあります。山々が朝日を浴び、最も美しく見える時間帯に早起きをすることで、一日の活力を得ることができます。

泉質 単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）
環境 標高：830m、夏平均気温：22.2℃
 冬平均気温：-2.9℃、冬の降雪量：41cm
歴史 黒部立山アルペンルート of 玄関口として発展した大町温泉郷。北アルプスの麓にある秘湯・葛温泉からの引湯で作られた。



15:00 囲炉裏でお茶とお菓子
 15:30 露天風呂で入浴
 *北アルプスの山々を眺め、寛ぐ。
 16:00 マッサージ 17:30 夕食
 19:30 温泉散歩
 *美しい夜空で心を安らかにする。

20:00 入浴
 21:00 瞑想・就寝前のストレッチ
 5:30 中庭で朝日を浴び、深呼吸
 6:15 「アルプス体操」
 *活力生み出す、目覚めのストレッチ。

6:30 囲炉裏でおめざ粥
 *かまどで炊き上げる香りも楽しむ。
 7:30 入浴
 8:30 朝食
 9:30 客室で座禅・瞑想



星野リゾート 界

星野リゾートが全国に展開する日本初の温泉旅館ブランド。日本らしさと快適性を追求した空間やサービスを提供しています。旅の醍醐味であるご当地の魅力を表現する「ご当地楽」のおもてなしと、滞在を通して地域の文化に触れる「ご当地部屋」が特徴。2018年7月に15施設目となる「界 仙石原」が箱根町仙石原に開業しました。

このリリースに関する問い合わせ：星野リゾート グループ広報

TEL：03-5159-6323 FAX：03-6368-6853 E-mail：pr-info@hoshinoresort.com

星野リゾート 界 温泉旅館ブランド界の「うるはし現代湯治」

温泉旅館ブランド「界」は、「王道なのに、あたらしい。」をコンセプトに、地域に伝わる伝統文化をおもてなしに織り込み、現代のくつろぎを追求した新たな温泉旅館の魅力を発信しています。2017年12月1日に開始した「うるはし現代湯治」では、温泉の効果をもっと深く感じ、体験していただくための提案をしています。



「うるはし現代湯治」とは

界の「うるはし現代湯治」は、温泉の成り立ちや温泉の泉質について学ぶ「温泉ギャラリー」、心地よく温泉入浴の健康効果を高める入浴法、体と心の機能を整える「温泉深呼吸」、国家資格者によるマッサージなど、4つのサービスと、界ブランドが提唱する現代湯治体験をわかりやすくまとめたガイドブックから成り、誰でも界に泊まるだけで簡単に「うるはし現代湯治」を体験できます。温泉の本質を伝え、湯治文化を現代に受け継ぐことを界ブランドの新たな約束としています。

■界の約束

- その1 界は現代に合った
快適性を追求した和の空間です。
- その2 界はその地域や季節ならではの
おもてなしをご用意しています。
- その3 界は星野リゾートの
精鋭スタッフをそろえています。
- その4 界は温泉の本質を伝え、
湯治文化を現代に受け継ぎます

界のうるはし現代湯治の五カ条



「うるはし現代湯治」開発の背景

湯治とは、温泉地に長期間滞在して、特定の疾病の治癒を目的とした温泉療法を行うことをいい、医学が未発達時代から、その伝聞される効果に期待して、多くの人が温泉療法による病気からの回復を試みてきました。現代では、医療の発達やライフスタイルの変化により、湯治文化は皮膚病や、現代医学では治療の難しい病の症状改善を期待して一部温泉地に残るのみとなっています。「界」は、温泉旅館ブランドとして、もっと温泉そのものを楽しみ、効果を感じてもらいたいと考え、現代人のライフスタイルにフィットした、「うるはし現代湯治」の提案にいたしました。忙しい日々で疲労した心と体を調べ、明日への活力を取り戻す、1泊2日の滞在で体験できる内容です。プログラムの開発に際しては、日々顧客と接している現場のスタッフから有志をつのり、プロジェクト化しました。また、学術的観点からのアドバイスをいただくため、東京都市大学人間科学部教授の早坂信哉博士に監修を依頼しました。